



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和7年3月6日（木） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
感染症対策推進課	感染症対策第二係	酢谷	内線 3352 直通 058-272-8453 FAX 058-278-3550

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

令和7年3月5日（水）、県内の医療機関から麻しんの発生届（臨床診断例）が提出され、同日に県保健環境研究所で遺伝子検査を実施したところ、麻しん陽性であることが判明しました。

西濃保健所が疫学調査を実施したところ、他人に感染させるおそれがある時期（感染可能期間）に下記のとおり接触者を特定できない施設を利用していたことが分かりました。

本公表は、患者と接触した方への注意喚起として、広く情報提供するものです。

1 患者概要

患者：30歳代 女性（安八郡神戸町在住）

主な症状：発熱、咳、結膜充血、眼脂、コプリック斑、発疹

現在の状況：自宅療養中

予防接種歴：不明

渡航歴：2月12日から2月19日まで ベトナムに滞在

2 発生までの経過等

3月1日（土）発症（発熱、発疹出現）

5日（水）医療機関を受診、医療機関から発生届の提出

保健環境研究所における遺伝子検査の結果、麻しん陽性確定

感染可能期間は自家用車を利用しており、公共交通機関の利用はありません。

なお、下記施設利用以外の接触者については、特定済みです。

3 患者が利用し、接触者を特定できない施設

患者が利用した日	時間帯（目安）	患者が利用した施設
3月1日（土）	8：00 ～ 12：00頃	カネスエ ^{ひるい} 昼飯店

上記日時に施設を利用した方で、利用日から3週間（21日間）の間に麻しんを疑う症状（次ページ「1 症状等」を参照）が現れた場合は、下記まで御連絡ください。

西濃保健所健康増進課 電話番号 0584-73-1111（内線 274）

平日時間外及び土日祝日の場合には、アナウンスに従っていただくと守衛室に繋がります。
麻しんを疑う症状があることをお伝えいただければ、保健所から御連絡します。

・施設への直接のお問い合わせは、お控えください。

・報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設への風評被害がないよう特段の御配慮をお願いします。

〔参考〕

麻しん（はしか）について

1 症状等

潜伏期は通常10～12日間であり、発熱、咳、鼻汁、結膜充血などの症状が現れます。
2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

2 感染経路

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われており、感染する時期は、発症の1日前から解熱後3日までとされています。また、空気中での麻しんウイルスの生存期間は2時間以内とされています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

3 潜伏期間

約10日～12日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

5 予防方法

ワクチンの効果が非常に高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上が免疫を獲得します。

麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。

6 麻しんの報告数

過去5年の報告数（診断日で集計）

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
岐阜県	0	0	0	0	1	1※1
全国	10	6	6	28※2	45※2	6※2

※1 岐阜県：令和7年は速報値（令和7年3月6日時点、本件含む）

※2 全 国：令和5、6、7年は速報値（令和7年2月26日時点、本件含まず）

7 留意事項

麻しんを疑う症状があった場合は、速やかに保健所に連絡をするとともに、医療機関を受診する際は必ず受診前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い受診してください。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避けてください。